

公社だより

2026
No. 158 1

I N D E X

- 年頭のご挨拶…………… 2
- 「ピンクリボンツリー」を設置しました …… 3
- New 令和8年度オプション検査のご案内 …… 4
- 『令和7年度 市町村等水道担当者連絡会』を
開催しました …… 6
- 令和7年度 中海宍道湖技術研修会を開催しました… 7
- Information…………… 8



松江城 松江市



年頭のご挨拶



理事長 田原研司

新年あけましておめでとうございます。
令和8年の年頭にあたり、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。
また、日頃より当公社の事業運営に対し、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、社会・経済の両面において大きな変化が見られました。大阪・関西万博が多くの来場者でにぎわい、日本の未来への期待を感じさせる明るい話題となりました。一方、コメ価格の上昇や備蓄米の放出など、食料の安定供給の重要性を再認識する一年でもあり、日々の暮らしを支える基盤の大切さを改めて実感いたしました。これは、当公社が担う水質検査や環境衛生の取り組みにおいても、重要な視点であると認識しております。

また、気候変動の影響による猛暑や大雨など、生活環境に影響を及ぼす事象も相次ぎました。地域の健康と安全を守るためには、日頃からの備えに加え、環境衛生に関する継続的な取り組みが、これまで以上に

重要であると感じております。

こうした中、当公社では、地域の皆様の健康を守るため、健康診断や保健指導の充実を図り、疾病の早期発見・予防に努めるとともに、生活環境の安全・安心を支える各種事業にも継続して取り組んでまいりました。

さらに、本年度より「健康の杜 浜乃木メディカルチェックプラザ」が本格稼働し、より充実した健診サービスを提供できる体制を整えました。受診環境の向上や検査体制の強化を進めることで、地域の皆様が安心して健康管理に取り組める場として、多くの方にご利用いただいております。これを契機に、今後も一層、質の高い健康づくり支援を推進してまいります。

本年も、「おまかせください、住みよい環境、あなたの健康」という理念のもと、職員一同、誠実に業務に取り組んでまいります。

引き続き、皆様の変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

🎀 ピンクリボンツリー を設置しました

今年も11/25～12/26の間、JR浜田駅2階コンコースにピンクリボンツリーを設置し、乳がん検診についての普及啓発を行いました。



乳がんの早期発見には定期的な乳がん検診、日常のブレストチェック（自己検診）が重要です。

New 令和8年度 オプション検査のご案内

膵臓がんの腫瘍マーカーセット「CA19-9・エラスターゼ1」をはじめます。CA19-9とエラスターゼ1は、どちらも膵臓がんの診断補助に用いられる腫瘍マーカーです。

エラスターゼ1は腫瘍マーカーではありませんが、膵臓があるとその近くにある正常部分に軽度の膵炎がおきることが知られており、エラスターゼ1はこの軽度の膵炎状態を検出するのに役立つ血液検査で、膵臓がんの早期発見に役立ちます。

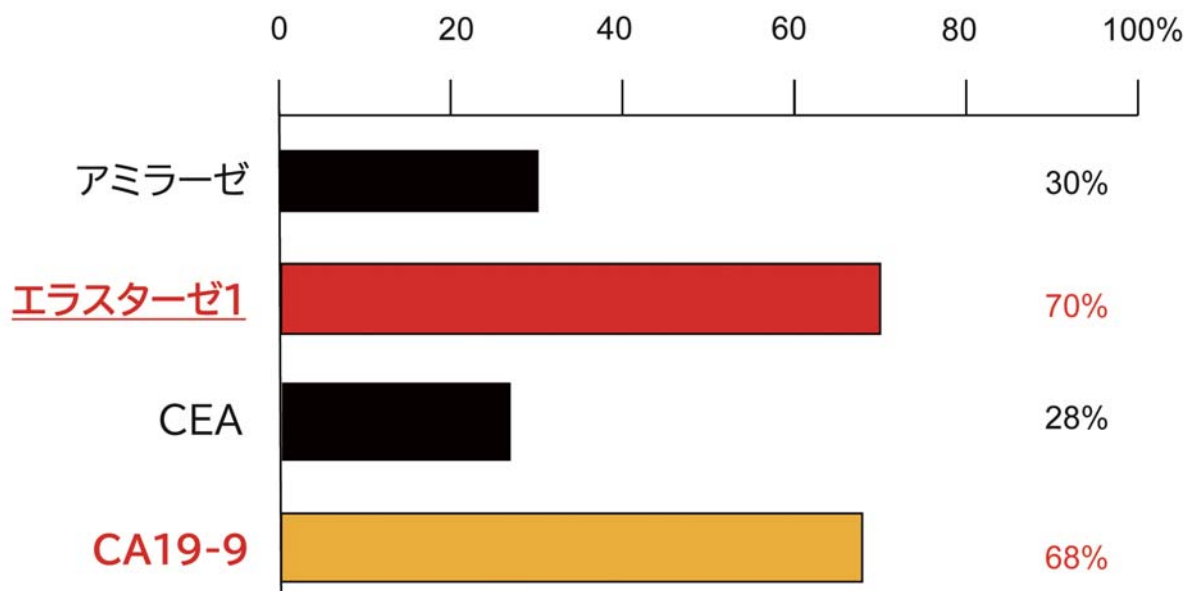
CA19-9とエラスターゼ1を組み合わせることで、早期の膵臓がんを見つけるのに役立つと考えられています。

『エラスターゼ1』とは...

- ・膵臓で産生される消化酵素
- ・早期膵臓がんの検出に優れている



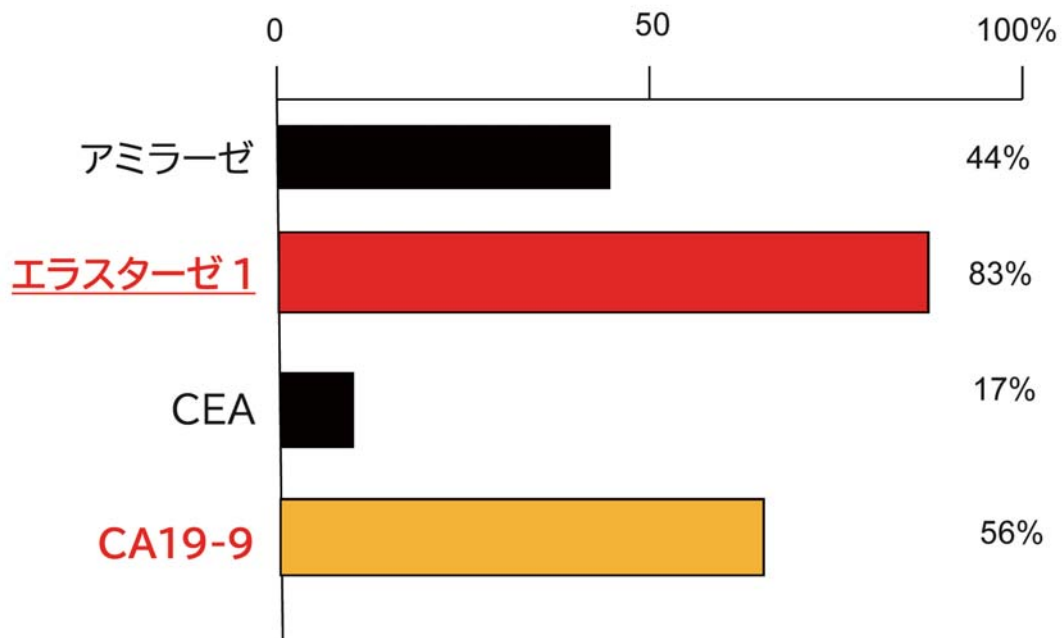
【膵臓がん40症例における各種検査の陽性率】



膵臓がん症例において、**エラスターゼ1**と**CA19-9**はアミラーゼやCEAに比べて、陽性率（異常であった割合）が高かった。

19：北川元二. けんさ 2002; 32: 3-12.より一部改変

【外科的切除が可能であった膵がん18症例における各種検査の陽性率】



外科的切除が可能であった膵がん症例において、**エラスターゼ1**の陽性率（異常であった割合）は最も高かった。

19：北川元二、けんさ 2002； 32：3-12より一部改変

膵臓がんの診断において、

①**エラスターゼ1** （膵臓がんのうち、早期がんの検出に優れている）

②**CA19-9** （膵臓がんでは陽性となりやすい）

この2つの組み合わせにより、より多くの膵臓がんが診断可能となります。

★ 「CA19-9・エラスターゼ1」セット 3,300円(税込)

★ 「CA19-9」 1,650円(税込)

★ 「エラスターゼ1」のみの検査は行っていません。

『令和7年度 市町村等水道担当者連絡会』 を開催しました

令和7年10月2日（木）ホテル白鳥にて、第24回目となる「水道担当者連絡会」を開催しました。

各市町村の水道担当者や専用水道の管理者など、38名の皆様にご参加いただき、特別講演と公社からの情報提供を行いました。特別講演では、国立研究所の浅見真理氏をお招きし、水の衛生とリスク管理の観点から、水質基準項目の推移と検出状況、令和8年度から基準項目となる「有機フッ素化合物（PFOS/PFOA）」、全国での水質事故や鉛管による鉛中毒の事例等についてもご講演いただきました。講演後には実務で発生した水質管理に関する課題等を含め多数の質疑があり、事例をもとに詳細にご回答いただき、水質管理に携わられる方々にとって、非常に有意義な講演でした。公社からの情報提供は、令和8年度から「PFOS/PFOA」が基準項目に追加されるにあたって、事前に検査を実施して濃度の把握をすることが望ましいこと、令和8年度以降は年間を通じてどのような頻度で検査を実施することになるかを説明しました。

また、翌3日には、公社・環境検査室等において、施設見学等を実施し、採水された水の検査方法・検査機器等の説明をしました。



【特別講演】

「水道水質管理の最近の動向」

講師：国立環境研究所 浅見 真理 氏

【情報提供】

「令和8年度の水質検査について」

島根県環境保健公社 環境事業部



【施設見学等】

「検査機器、検査方法、採水の注意点等の説明会」
場所：島根県環境保健公社・環境検査室等

令和7年度 中海宍道湖技術研修会を開催しました

令和7年10月31日（金）に「サンラポーむらくも」にて、令和7年度中海宍道湖技術研修会を開催しました。今回は島根大学 生物資源科学部 環境共生科学科 倉田健吾 准教授をお招きし、「変動する汽水域生態系の生物群集-中海と宍道湖の底生生物を例に」をテーマにご講演いただきました。

気候変動や人為的な環境変化が中海宍道湖の底生生物へ及ぼす影響に関する講演で、シジミ資源の持続可能な利用に向けては、湖底環境が維持・改善されているか継続的な調査研究が必要であるなど、大変興味深い内容でした。

質疑応答では宍道湖の水環境がシジミに及ぼす影響などについて、活発に議論いただきました。

この研修会は公社が主催し今年で14回目となります。来年度以降も、調査・分析の技術力・知識の向上に向けた研修会を開催していきます。



Information

人間ドックのご案内

申込方法：事前に下記の連絡先にてご予約ください

実施日：月曜日～金曜日
(受付時間 8:00～8:45)

料 金：日帰り人間ドック
38,000円(税抜)
1泊2日人間ドック
62,000円(税抜)

当センターでは鼻からの胃カメラも実施しています。



公益財団法人島根県環境保健公社 お問い合わせは

内容	窓口	TEL・FAX
● 健康診断について	健診事業推進課	TEL0570-085-111 FAX0852-55-4528
● 人間ドックについて	ドック事業推進課	TEL0570-085-111 FAX0852-32-8585 フリーダイヤル 0120-81-5211
● 環境・食品検査について	環境事業推進課	TEL0570-085-111 FAX0852-55-4525
● 上記以外について	総務課	TEL0570-085-111 FAX0852-24-0122

営業時間 8:30～17:00 (土日・祝日は除く)

おまかせください 住みよい環境 あなたの健康

私ども公社は「予防医学活動を主軸として環境保健事業を推進し、島根県民の健康の増進と福祉の向上に寄与する」の設立趣旨に沿って各種の事業に取り組んでいます

ホームページにて最新の情報を掲載しております。
下記アドレスまでアクセスしてください。
<https://www.kanhokou.or.jp/>

発行
令和8年1月1日
公益財団法人島根県環境保健公社
企画管理部情報管理室
〒690-0012
島根県松江市古志原一丁目4番6号
Tel 0570-085-111